

豊田市 PCB 処理 安全監視委員会だより

令和2年4月
第 44 号

豊田市は、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）が行う豊田 PCB 廃棄物処理事業における安全性の確保及び周辺環境の保全のため、「豊田市 PCB 処理安全監視委員会」を設置し、PCB 廃棄物が安全・確実に運搬・処理されることを監視しています。

今回は、令和元年度第2回目の安全監視委員会の内容についてお知らせします。

令和元年度第2回豊田市PCB処理安全監視委員会

令和2年2月17日、JESCO 豊田 PCB 処理事業所において、令和元年度第2回目の安全監視委員会を開催しました。会議には監視委員13名、オブザーバーとして愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、岐阜市、静岡市、浜松市、名古屋市、豊橋市、岡崎市、豊田市消防本部、豊田労働基準監督署、その他環境省、JESCO のほか、経済産業省中部近畿産業保安監督部の職員も出席していただきました。

○議 題

- 1 豊田 PCB 廃棄物処理事業の状況報告について
- 2 豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について
- 3 PCB 廃棄物処理に係る東海地区広域協議会の取組について
- 4 PCB 廃棄物の適正処理推進に向けた環境省の取組について

1 豊田 PCB 廃棄物処理事業の状況報告

JESCO から、以下の報告がありました。

(1) PCB 廃棄物処理実績

	変圧器類 (台)	コンデンサ ー類 (台)	廃 PCB 油 (本)	保管容 器 (箱)
H31.4~ R1.12	109	4,606	205	417
H30 年度	108	6,945	323	432
累計 処理量	2,324	71,777	1,166	2,335

(2) PCB 廃棄物処理進捗率

	変圧器類	コンデンサ ー類	廃 PCB 油	保管 容器
R1.12 末 時点 (%)	93.7	94.1	※80.2	68.0

※登録本数当たりの処理率

(3) PCB 廃棄物未搬入状況（登録数－受入数）

	変圧器類 (台)	コンデンサ ー類 (台)	廃 PCB 油 (本)	保管容 器 (箱)
R1.12 末 時点	154	4,347	※347	1,099

※大型の金属タンク 7 基含む。

(4) 周辺環境への影響の状況

令和元年7月及び10月に実施した排気、排水等の排出源モニタリングの結果及び大気、地下水等の周辺環境モニタリングの結果は、いずれも管理目標値、環境基準値等を下回っていました。

(5) 運転廃棄物の保管及び処理の状況

操業に伴い発生した運転廃棄物を封入したドラム缶を12月末時点で1,134本保管しています。仕分けを行い、順次処理を進めています。

(6) 収集運搬に関する指導事例について

1月、収集運搬事業者が収集運搬時に、PCB油が入ったドラム缶を受け入れ基準に違反して漏れ防止型金属トレイで搬入したため、指導をした事例がありました。なお、国が定めたガイドラインでは、認められている運搬方法であり、周辺環境に影響を及ぼしたものではありません。

(7) 操業に伴う漏洩等のトラブルについて

前回の安全監視委員会以後、施設内で操業上の労働災害や漏洩のトラブルは発生しておりません。

2 豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応

豊田市は、前回の安全監視委員会以後、JESCO 豊田 PCB 処理事業所に計7回立入検査を実施し、行政検査や施設運転状況の確認等を実施しました。9月に JESCO から放流水中の油分異常報告の連絡を受け、立入を実施し、排水の停止を確認しました。水質検査をした結果は基準内であり、外部への流出がないことが確認されました。

また、令和元年度 PCB 環境モニタリング夏季調査(大気、河川水質、土壌)を実施し、いずれの結果からも施設稼働に伴う異常は認められません。今後も継続して、PCB 処理施設の稼働に伴う環境への影響を把握してまいります。

3 東海地区広域協議会の取組について

PCB 廃棄物処理に係る東海地区広域協議会の事務局である愛知県から、PCB 廃棄物が確実に処理されるよう、処理完了に向けて広域協議会が実施している取組内容について説明がありました。これまでの掘り起こし調査で、昨年末時点での進捗率は約91%となっており、今後も関係者と連携し、処理計画を確実に遂行できるよう進めていくとのことでした。また、処理計画については、処理計画量を年度内に全て処理できる予定です。

4 適正処理推進に向けた環境省の取組について

環境省から、PCB 廃棄物の適正処理推進に向けた取組について報告がありました。

我が国全体の PCB 廃棄物処理事業の進捗状況は、令和元年12月時点で PCB 変圧器、コンデンサー等が372万台が JESCO の全国5カ所で登録済みで、33.7万台が処理済みです。

また、都道府県市への掘り起こし調査の支援やテレビCM等による PCB 適正処理を促進するための周知について説明がありました。

(委員からの主な質問・意見)

質問(委員) 1/16に発生した指導内容に対して、改善計画書の提出期限が2/19では、遅いのではないかと。

回答(JESCO) 原因を協議したところ、理解不足によるものであったため、事業者研修・教育を盛り込むなど、時間を要した。

質問(委員) 運転廃棄物ドラム缶の在庫量の推移のペースを見ると、処理が終わるのか。

回答(JESCO) 計画どおりに進め、ゼロにする。

質問(委員) JESCOの定期点検の日数により、処理する稼働日が減るが、掘り起こし調査により出てきた廃棄物を処理できるのか。

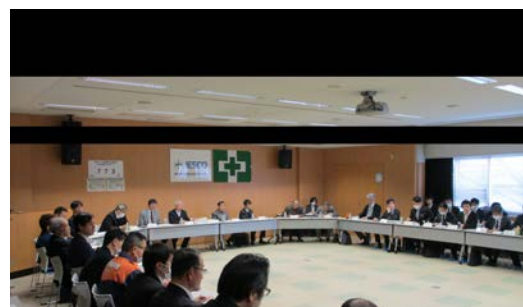
回答(JESCO) 長期処理計画により、問題なく処理できる。定期点検もしっかりと行い、期限内に処理を全うする。

意見(委員) 収集運搬の指導事例で、JESCO 受け入れ基準が国のガイドラインより厳しい理由を説明していただけるとよい。

意見(委員) 掘り起こし調査では、専門的な知識がない小さな事業者もいると思うので、自治体でしっかりとサポートしていただきたい。

意見(委員) 掘り起こし調査は、郵送だけでなく、対面で直接、話をする方法を検討していただきたい。

意見(委員) 社会問題として、認知していただけるよう発信していただきたい。



◆ 豊田市 PCB 処理安全監視委員会事務局
豊田市 環境部 廃棄物対策課
電話 0565-34-6710
ファックス 0565-34-6976
e-mail haitai@city.toyota.aichi.jp